

令和6年度

病害虫発生予察情報

第9号

5月月報

北海道病害虫防除所 令和6年(2024年)6月14日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

I. 気象概況 札幌管区气象台発表 北海道地方気象速報

－暖かい空気に覆われた日が多かったが、たびたび寒気が流入し気温の変動大－

5月は、中旬を中心に暖かい空気に覆われやすかったため、月平均気温は太平洋側でかなり高く、日本海側や北海道地方で高かった。一方、低気圧の通過後は、北から寒気が流れ込んだ日もあったため、オホーツク海側で平年並となった。降水量は、低気圧の影響を受けやすかった日本海側とオホーツク海側で多くなったが、太平洋側では少なかった。

上旬：高気圧に覆われて晴れた日が多く、日照時間は多かった。降水量は太平洋側で少なかったが、6日から7日にかけて北海道付近を通過した低気圧により、まとまった雨が降ったため、オホーツク海側では多かった。気温は、暖かい空気に覆われた時期もあったが、北から寒気が流れ込んだ影響によりオホーツク海側で低かった。なお、7日21時に稚内の上空1500m付近で氷点下5.1℃を観測するなど、7日から8日にかけては4月上旬並の寒気が入り、オホーツク海側を中心に雪が降って積雪状態となった所もあった。

中旬：高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は短い周期で変わったが、高気圧の圏内となった日が多かったため、日照時間は多かった。また、降水量はオホーツク海側で少なかったが、低気圧や前線の影響を受けやすかった日本海側では多かった。気温は、南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、かなり高かった。特に、日本海側と太平洋側及び北海道地方では旬平均気温の平年差が、1946年の統計開始以降、5月中旬として高い方から第1位の記録となった。

下旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線の影響により、曇りや雨の日が多かった。このため、降水量は日本海側と北海道地方で多く、オホーツク海側でかなり多かった。また、日照時間は北海道地方で少なく、日本海側とオホーツク海側でかなり少なかった。気温は、南から暖かい空気が流れ込んだ日もあったが、北から寒気の影響を受けた日が多かったため、日本海側で低かった。なお、25日には寒気の影響により、オホーツク海側を中心に峠や山間部で雪の降った所があった。

気候表(気温は平年差(℃)、降水量・日照時間は比(%))を示す)

	気温偏差℃	階級	降水比%	階級	日照比%	階級
北海道22 地点平均	+1.2	高	106	並	104	並
日本海側10 地点平均	+0.9	高	126	多	105	並
オホーツク海側4 地点平均	+0.7	並	124	多	98	並
太平洋側8 地点平均	+1.8	か高	71	少	106	並

注) 階級分布図の気温・降水量・日照時間は、概ね「高(多)」、「並」、「低(少)」の3段階で表示します。各階級の幅は、平年値の作成期間(1991～2020の30年間)における各階級の出現率が1:1:1となるように決めてあります。

なお、平年値作成期間内の上位、下位10%の範囲に入る場合は「か高(多)」、「か低(少)」(か→かなり)で表します。

Ⅱ. 病害虫発生概況

注) 本資料における表中の0の表記について

0のみの場合、調査時に発生がなかったことを示す。0.0あるいは0.00などは、四捨五入により数値が表示されていないことを示す。

A. 水稻

1. ヒメトビウンカ 発生期 やや早(第1回成虫) 発生量 やや多(第1回成虫)

予察田の畦畔すくい取りによる第1回成虫の初発期は、長沼町で5月2半旬(平年:5月2半旬)と平年並、比布町で5月3半旬(平年:5月4半旬)と平年よりやや早く、北斗市では5月1半旬(平年:5月3半旬)と平年より早かった。畦畔すくい取りによる成虫の捕獲数は、長沼町で平年よりやや少なく、比布町で平年並、北斗市では平年より多かった。

畦畔におけるヒメトビウンカのすくい取り数

月・半旬	長沼町				比布町				北斗市			
	幼虫		成虫		幼虫		成虫		幼虫		成虫	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5月1半旬	0	4.0	0	1.9	5.0	8.1	0	0	0	1.5	10.0	0.5
2半旬	0	4.2	2.5	12.8	2.5	2.2	0	0	0	1.3	0	0.3
3半旬	0.8	1.1	7.5	20.0	7.5	6.7	10.0	1.1	0	0.5	27.5	1.6
4半旬	0	0.4	0	13.5	12.5	1.9	122.5	23.1	0	0	7.5	4.8
5半旬	0	0.3	2.5	6.3	5.0	1.5	5.0	61.3	0	0.3	0	3.0
6半旬	0	1.8	0	5.6	0	1.0	10.0	48.9	0	0.5	0	3.8
平年数	10				10				10			

注) 20回振り×5日分換算値

B. 秋まき小麦

1. 赤さび病 発生期 早 発生量 多 <5月17日付け注意報第2号>

予察ほの「きたほなみ」における初発期は、いずれの地点とも平年より早かった。発生量は、いずれの地点とも平年より多かった。一般ほにおける巡回調査結果では、上川、網走及び十勝地方で病葉率の高い地点が認められた。

予察ほにおける赤さび病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	きたほなみ	4月11日	4月18日	10
芽室町	きたほなみ	4月18日	5月14日	10
訓子府町	きたほなみ	4月25日	5月18日	10

予察ほにおける赤さび病の発生状況

地点	品種名	調査葉位	病斑面積率(%)						平年数
			5月2半旬		5月4半旬		5月6半旬		
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	全葉	0.82	0.05	1.54	0.11	5.52	0.78	10
		最上位葉	0	0	0	0	0.04	0.02	
		最上-1葉	0	0.01	0.02	0.00	0.82	0.26	
芽室町	きたほなみ	全葉	0.00	0.00	0.00	0.01	0.03	0.01	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0	
		最上-1葉	0	0	0	0	0	0	
訓子府町	きたほなみ	全葉	0	0.00	0.09	0.01	0.89	0.00	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0	
		最上-1葉	0	0	0	0	0.04	0	

一般ほにおける赤さび病の巡回調査結果

普及センター		病葉率(%)			
		5月3半旬		5月6半旬	
		本年	前年	本年	前年
空知	本所	0	0	0	0
	南東部	0	0	0	0
	南西部	0	0	0	0
	北空知	0	0	0	0
石狩	本所	0	0	0	0
	北部	0	0	0	0
後志	本所	0	0	0	0
胆振	本所	0	0	0	0
	東胆振	0	0	0	0
檜山	本所	0	0	0	0
	北部	0	0	0	0
上川	本所	0.5	0	0	0
	富良野	0	0	0	3.3
	大雪	0	0	0	0
	士別	0	0	0	0
	名寄	0	0	6.7	0

普及センター		病葉率(%)			
		5月3半旬		5月6半旬	
		本年	前年	本年	前年
留萌	本所	0	0	0	0
網走	本所	—	—	1.0	0
	清里	—	—	9.3	0
	網走	—	—	0	0
	美幌	—	—	0	0
	遠軽	—	—	0	0
	紋別	—	—	0	0
十勝	本所	0	0	0.6	0
	東部	0	0	13.3	0
	東北部	0	0	0	0
	北部	0	0	0.3	0
	西部	0	0	0	0
	南部	0	0	0.6	0

注1) —:調査時期外のため未調査
注2) 病葉率:最上位葉の1枚下の葉の病葉率

2. うどんこ病 発生期 — 発生量 並

予察ほの「きたほなみ」における初発期は、訓子府町では平年よりやや早く、長沼町では平年より遅かった。発生量は、長沼町及び訓子府町とも平年並であった。芽室町での発生は確認されていない。一般ほにおける巡回調査結果では、空知、胆振、上川及び留萌地方で発生が認められた。

予察ほにおけるうどんこ病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼	きたほなみ	5月30日	5月1日	10
芽室	きたほなみ	未発生	5月18日	10
訓子府	きたほなみ	5月6日	5月10日	10

予察ほにおけるうどんこ病の発生状況

地点	品種名	調査葉位	病斑面積率(%)						平年数
			5月2半旬		5月4半旬		5月6半旬		
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	全葉	0	0.08	0	0.08	0	0.08	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0.00	
		最上-1葉	0	0.01	0	0.00	0	0.03	
芽室町	きたほなみ	全葉	0	0.00	0	0.01	0	0.03	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0	
		最上-1葉	0	0	0	0.00	0	0.00	
訓子府町	きたほなみ	全葉	0.01	0.04	0.15	0.04	0.30	0.01	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0	
		最上-1葉	0	0.00	0	0.01	0	0	

一般ほでのうどんこ病の巡回調査結果

普及センター		病葉率(%)			
		5月3半旬		5月6半旬	
		本年	前年	本年	前年
空知	本所	0.8	0	0	0
	南東部	0	0	0	0
	南西部	0	0	0	0
	北空知	0	0	0	0
石狩	本所	0	0	0	0
	北部	0	0	0	0
後志	本所	0	0	0	0
胆振	本所	0	0	0.3	0
	東胆振	0	0	0	0
檜山	本所	0	0	0	0
	北部	0	0	0	0
上川	本所	0	0	0	0
	富良野	0	0	0	0
	大雪	0	0	0	0
	士別	0	0	0	0.3
	名寄	0.7	0	0.7	0

普及センター		病葉率(%)			
		5月3半旬		5月6半旬	
		本年	前年	本年	前年
留萌	本所	0	0.3	2.5	0
網走	本所	—	—	0	0.4
	清里	—	—	0	0
	網走	—	—	0	0
	美幌	—	—	0	0
	遠軽	—	—	0	0
	紋別	—	—	0	0
十勝	本所	0	0	0	0
	東部	0	0	0	0
	東北部	0	0	0	0
	北部	0	0	0	0
	西部	0	0	0	0
	南部	0	0	0	0

注1) — : 調査時期外のため未調査
注2) 病葉率: 最上位葉の1枚下の葉の病葉率

C. 春まき小麦

1. ムギキモグリバエ 発生期 早 発生量 やや少 <5月21日付け注意報第3号発表>

予察ほのすくい取りによる成虫の初発期は、長沼町で5月9日（平年：5月16日）と平年より早く、比布町で5月14日（平年：5月19日）と平年よりやや早かった。成虫のすくい取り数は、長沼町で平年並、比布町では平年よりやや少なかった。

予察ほにおけるムギキモグリバエのすくい取り数

月・半旬	長沼町		比布町	
	本年	平年	本年	平年
5月1半旬	0	0	0	0
2半旬	7.5	2.5	0	0
3半旬	57.5	16.8	17.5	2.5
4半旬	64.2	25.5	27.5	15.9
5半旬	22.5	68.9	5.0	95.8
6半旬	10.0	77.6	145.0	201.3
平年数	10		10	

注) 20回振り×5日分換算値

D. てんさい

1. テンサイトビハムシ 発生期 やや早 発生量 並

予察ほにおける被害の初発期は、長沼町で5月2半旬（平年：5月2半旬）と平年並、芽室町で5月2半旬（平年：5月3半旬）及び訓子府町では5月2半旬（平年：5月3半旬）と平年よりやや早かった。被害程度は、芽室町で平年よりやや高く、長沼町及び訓子府町では平年並であった。

予察ほにおけるテンサイトビハムシによる食害程度

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5月1半旬	0	1.2	0	0	0	0.3
2半旬	4	1.9	1	1.2	0	0.1
3半旬	11	7.2	9	2.1	0	3.9
4半旬	16	17.2	13	4.5	5	8.8
5半旬	21	20.5	12	6.6	12	15.5
6半旬	24	28.8	13	9.0	20	21.2
平年数	10		10		9	

E. あぶらな科野菜

1. コナガ 発生量 並

フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数は、芽室町で平年よりやや多く、長沼町、北斗市及び訓子府町で平年並、比布町では平年より少なかった。

コナガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5月1半旬	4	5.7	18	37.0	11	20.4	0.5	6.0	0	2.5
2半旬	4	8.0	31	37.2	12	21.9	1.5	6.9	0	2.4
3半旬	8	6.9	31	70.2	14	28.3	11	8.3	4	3.5
4半旬	7	8.4	7	62.5	49	30.4	20	6.6	13	3.0
5半旬	21	15.3	27	80.3	48	30.9	26	10.4	3	9.4
6半旬	31	19.2	16	52.0	36	41.8	14	8.1	11	12.0
平年数	10		9		10		10		10	

F. りんご

1. モニリア病 発生期 — 発生量 少

長沼町（無防除）と余市町（慣行防除）の予察園では、葉腐れ及び花腐れは認められなかった。一般園における巡回調査結果では、発生は認められなかった。

予察園におけるモニリア病の初発期

地点	品種名	防除有無	葉腐れ		花腐れ		平年数
			本年	平年	本年	平年	
長沼町	相伝ふじ	無	未発生	—	未発生	—	—
余市町	昂林	有	未発生	—			—

注) 平年値なし

予察園におけるモニリア病の発生状況

地点	品種名	防除有無	調査時期	花葉叢率(%)				平年数
				葉腐れ		花腐れ		
				本年	平年	本年	平年	
長沼町	相伝ふじ	無	5月1半旬	0	-	0	-	-
			2半旬	0	-	0	-	
			3半旬	0	-	0	-	
			4半旬	0	-	0	-	
			5半旬	0	-	0	-	
			6半旬	0	-	0	-	
余市町B	昂林	有	5月1週目	0	-			-
			2週目	0	-			
			3週目	0	-			
			4週目	0	-			
			5週目	0	-			

注) 平年値なし

一般園におけるモニリア病の巡回調査結果

普及センター		発病花葉叢数	
		本年	前年
後志	北後志	0	0
胆振	本所	0	0
渡島	本所	0	0
留萌	南留萌	0	0

注) 1樹当たり発病花葉叢数、10樹調査(開花直前)

2. ハマキムシ類 発生期 早 発生量 やや多

ミダレカクモンハマキ越冬卵のふ化最盛期は、長沼町の予察園で4月26日(平年:5月8日)と平年より早かった。開花直前の被害花叢率は44%(平年:29.7%)と平年よりやや高かった。

BLASTAMならびにFLABSの運用について

水稻の葉いもち発生予察システム「BLASTAM(ブラスタム)」による広域発生期判定結果、ならびにばれいしょの疫病初発予測システム「FLABS(フラブス)」による予測結果を防除所のホームページに掲載します。

アドレス(<http://www.agri.hro.or.jp/boujiosho/>)または「北海道病害虫防除所」で検索してください。

「BLASTAM」では、道内約50地点について、葉いもちの感染好適日を判定します。

「FLABS」では、道内約25地点の農作物生育状況調査ほ場(作況ほ)等の萌芽日をもとに疫病の初発日予測を行います。

「BLASTAM」、「FLABS」とも随時更新していきますので、計画的な防除にお役立て下さい。